

A1674	富士急行6000系 6001号編成 3両セット	予価: 18,920円(本体価格17,200円)
		JANコード: 134542 カートン内入数: 12

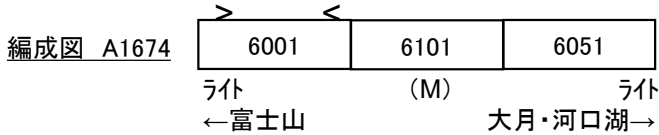
商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	<p>世界文化遺産として国内外に広く親しまれる富士山の北側山麓、中央本線の大月駅から河口湖駅までを結ぶ鉄道が富士急行です。富士急行ではJR東日本で引退した205系を3両編成化した車両を2012年2月29日(富士急の日)から運行開始しており、種車の製造年(昭和60年)に因んで6000系と呼ばれています。富士急行導入にあたり、中間電動車への運転台設置、パンタグラフの増設、屋上ベンチレータの撤去、一部床下機器の変更などの改造が行われたほか、車体外装には富士山をイメージした爽やかなブルーとアクセントの黄色、COMMUTER TRAINの頭文字をあしらったロゴマークなどが配された斬新なデザインを採用、内装には床や吊革などに木材を使用し、座席布地は独自デザインのものとするなど、居住性の向上を企図した車両として通勤・通学客のほかに観光需要にも配慮した車両となっています。</p> <p>2022年現在、3両編成7本が普通列車や特急のピンチランナーとして活躍中の富士急行6000系は種車の形態から大きく三つのグループに分類され、そのうち百の位が0と1のグループは側面窓が二段式である205系量産先行車を種車としたグループです。本製品ではそのうち6001号の編成をモチーフとしています。</p>
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース通勤電車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯 ・フライホイール付動力ユニット搭載

爽やかなブルーの帯とドア。富士急行6000系



富士急行株式会社商品化許諾済

- パンタ増設、ベンチレータ撤去が行われた屋根と、種車とは異なる床下部品、クモハ6001のボディを新規作成
 - 各種ロゴマーク、表記などを美しく印刷
- ※部品共用のため側面車外スピーカーは印刷表現となります



オプション	幅広室内灯: G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー 密連・黒: F0001
付属品	行先シール